

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】令和4年9月13日(2022.9.13)

【公開番号】特開2021-46360(P2021-46360A)

【公開日】令和3年3月25日(2021.3.25)

【年通号数】公開・登録公報2021-015

【出願番号】特願2019-168668(P2019-168668)

【国際特許分類】

A 6 1 K 3 1 / 4 5 4 5 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 3 1 / 1 2 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 3 5 / 0 0 (2 0 0 6 . 0 1)

A 6 1 P 3 5 / 0 2 (2 0 0 6 . 0 1)

10

【F I】

A 6 1 K 3 1 / 4 5 4 5

A 6 1 P 3 1 / 1 2

A 6 1 P 3 5 / 0 0

A 6 1 P 3 5 / 0 2

【手続補正書】

20

【提出日】令和4年9月5日(2022.9.5)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

腫瘍ウイルスに起因する腫瘍を予防、改善、進行抑制、及び/又は、治療するための医薬組成物であって、

30

前記腫瘍ウイルスの遺伝子産物を標的とする成分を有効成分として含有する、医薬組成物。

【請求項2】

腫瘍ウイルスの遺伝子産物を標的とする成分が、腫瘍ウイルスの遺伝子産物の発現及び/又は機能を抑制する成分である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項3】

前記遺伝子産物が、腫瘍ウイルスのライフサイクルに関与する遺伝子産物である、請求項1又は2に記載の医薬組成物。

【請求項4】

前記遺伝子産物が、腫瘍ウイルスの溶解感染の開始又はその期間に発現が誘導される若しくは亢進する遺伝子産物である、請求項1から3のいずれかに記載の医薬組成物。

40

【請求項5】

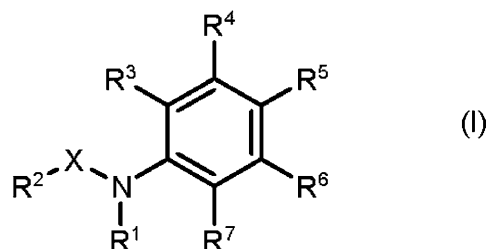
腫瘍ウイルスの遺伝子産物を標的とする成分が、腫瘍ウイルスのコピー数の増加を抑制する成分である、請求項1に記載の医薬組成物。

【請求項6】

腫瘍ウイルスの遺伝子産物を標的とする成分が、下記式(I)：

50

【化 1】



で表される化合物又はその製薬上許容される塩であり、
式 (I) において、

R^1 は、水素原子、置換若しくは無置換の C_{1-6} アルキル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルケニル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルキニル基、又は置換若しくは無置換のアリール基を示し、

X は、 $-C(=O)-$ 、 $-C(=S)-$ 、 $-SO_2-$ 、 $-C(=S)NHC(=O)-$ 、又は $-C(=O)NHC(=S)-$ を示し、

R^2 は、置換若しくは無置換の C_{1-6} アルキル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルケニル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルキニル基、置換若しくは無置換のアリール基、又は置換若しくは無置換の含窒素ヘテロアリール基を示し、

R^3 は、水素原子、置換若しくは無置換の C_{1-6} アルキル基、 C_{2-6} アルケニル基、 C_{2-6} アルキニル基、ハロゲン原子、 $-CN$ 、 $-NH_2$ 、又は $-NO_2$ を示し、

R^4 は、水素原子、ハロゲン原子、置換若しくは無置換の C_{1-6} アルキル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルケニル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルキニル基、又は置換若しくは無置換のアリール基を示し、

R^5 は、水素原子、ハロゲン原子、アミノ基、又はアジ基を示し、

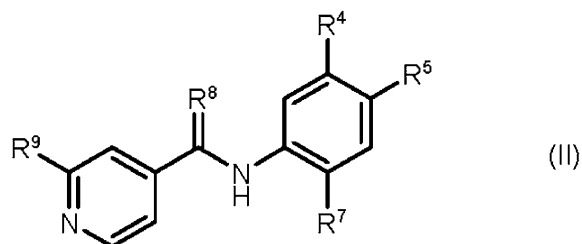
R^6 は、水素原子、 $-CSO_2NR^{10}R^{11}$ 、又は $-CSO_2R^{12}$ を示し、ここで、 R^{10} 、 R^{11} 及び R^{12} は、それぞれ独立して、水素原子、置換若しくは無置換の C_{1-6} アルキル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルケニル基、置換若しくは無置換の C_{2-6} アルキニル基、置換若しくは無置換の C_{1-4} アルコキシ C_{1-4} アルキル基、置換若しくは無置換のシクロアルキル基、置換若しくは無置換のヘテロシクロアルキル基、置換若しくは無置換の芳香族環、若しくは置換若しくは無置換のヘテロアリール基を示すか、 R^{10} 及び R^{11} はこれらが結合する窒素原子とともにヘテロシクロアルキル基を形成するか、又は R^{10} 及び R^{11} はこれらが結合する窒素原子及び窒素原子が結合する硫黄原子とともにヘテロシクロアルキル基を形成し、

R^7 は、水素原子、ハロゲン原子、ジエチルアミノ基、置換若しくは無置換の含窒素ヘテロシクロアルキル基、又は置換若しくは無置換の含窒素ヘテロアリール基を示す、請求項 1 から 5 のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項 7】

腫瘍ウイルスの遺伝子産物を標的とする成分が、下記式 (II) :

【化 2】



で表される化合物又はその製薬上許容される塩であり、
式 (II) において、

10

20

30

40

50

R⁴は、水素原子、ハロゲン原子、置換若しくは無置換のC₁₋₆アルキル基、置換若しくは無置換のC₂₋₆アルケニル基、置換若しくは無置換のC₂₋₆アルキニル基、又は置換若しくは無置換のアリール基を示し、

R⁵は、水素原子、ハロゲン原子、アミノ基、又はアジ基を示し、

R⁷は、水素原子、ハロゲン原子、ジエチルアミノ基、置換若しくは無置換の含窒素ヘテロシクロアルキル基、又は置換若しくは無置換の含窒素ヘテロアリール基を示し、

R⁸は、酸素原子又は硫黄原子を示し、

R⁹は、水素原子、C₁₋₆アルキル基、又はC₂₋₆アルキニル基を示す、

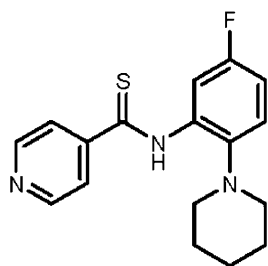
請求項1から5のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項8】

10

腫瘍ウイルスの遺伝子産物を標的とする成分が、下記式：

【化3】



20

で表される化合物又はその製薬上許容される塩である、請求項1から5のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項9】

腫瘍が、肝細胞癌、子宮頸上皮異形成、子宮頸癌、口腔咽頭癌、成人T細胞白血病、悪性リンパ腫、メルケル細胞癌、原発性滲出性リンパ腫、及びカポジ肉腫を含むウイルス関連腫瘍からなる群から選択される、請求項1から8のいずれかに記載の医薬組成物。

【請求項10】

腫瘍ウイルスが、EBウイルス(EBV)、B型肝炎ウイルス(HBV)、C型肝炎ウイルス(HCV)、ヒトパピローマウイルス(HPV)、ヒトTリンパ白血病ウイルス1型(HTLV-1)、カポジ肉腫関連ヘルペスウイルス(KSHV)、及びメルケル細胞ポリオマウイルス(MCV)からなる群から選択される、請求項1から9のいずれかに記載の医薬組成物。

30

40

50